資　料　4

山口県立大学　附属周防大島高等学校



山口県公立大学
法人評価委員会資料
（第５０回）
令和７年７月２９日（火）

将来構想推進局附属高校設置準備室

附属高校の設置の経緯

令和３年３月、山口県において「山口県新たな時代の人づくり推進方針」を策定

人口減少、少子化の進行、若者の県外流出が続く中、グローバル化の進展や社会全体のデジタル化など、社会状況や地域のニーズの大きな変化に対応するため

【県立大学のあり方】

○　本県が設置する大学として、本県が抱える政策課題や地域ニーズに対応していくことができるよう、学部・学科の見直しも含め、県内大学等との機能分担や連携、担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方などについて検討

令和４年３月、山口県と山口県立大学で「山口県立大学将来構想」を策定

時代や社会の変化に対応し、地域とともに未来を切り拓く大学であり続けるため

- ■　国際文化学部の再編
- ■　社会福祉学部・看護栄養学部の充実
- ■　子ども・子育て支援の貢献
- ■　地域・企業・高校等との連携強化

令和５年４月、「山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会」を設置

附属高校の設置の経緯

山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会における検討

◇設置目的　山口県立大学将来構想に基づき**今後の高大連携の方策について協議**
◇委員構成　１０人（外部有識者、山口県、山口県教育庁、山口県立大学）
◇検討事項　①**附属高校の設置に関すること**　②その他高大連携の推進強化に関すること

	附属化候補校	協議の状況等
第１回	□公私立高校等【７３校】（通信制は除く）	○設置方法は、新設ではなく 既存の県内高校の設置者を変更
第２回	□公私立高校【約３０校※】 ※本学と連携協定を結んでいる高校や自治体にある高校、または本学の教育課程と円滑に接続できる専門学科設置校 ↓ □県立高校【９校】	○私立高校関係者の意見を踏まえ、 私立高校は除外 ○県立高校のうち、本学との接続が困難な 工業科設置校等は除外
第３回	□県立高校【５校】	○８つの観点※により検討 ※①本学教育課程との円滑な接続　②本学との連携実績 ③本学との近接性　④大学等への進学状況 ⑤本学への入学実績　⑥高校生の通学環境 ⑦高校への志願・入学状況　⑧地域課題への取組状況
第４回	□県立高校【３校】	○高校の教育活動と本学の教育との マッチングの視点により検討
第５回	□県立高校【１校】 ➢周防大島高校に決定 （令和８年４月の開校を目指す）	○高校の教育活動の内容を更に精査※ ※第４回の後に附属化候補校の校長へのヒアリングを実施 ①教育的関連が見込まれる本学の学科数 ②地域課題の解決に向けた取組状況

周防大島高校を附属高校へ（選定理由）

令和５年９月、山口県教育委員会に要望書を提出

■　附属化対象校　　山口県立周防大島高校（大島郡周防大島町）
■　開 校 時 期　　令和８年４月（目標）

【県立周防大島高校を附属化対象校として決定した理由】

①　**現在の教育活動・内容が、本学の全ての学科と教育的つながり**があり、本学が目指す高大７年間の一貫した教育理念による人材育成において大きな成果が期待

②　**地域課題の解決等に向けた様々な取組は**、本学が行おうとしている**「広い視野を持って課題解決に挑戦することの意義を理解させること」において有用**であり、**これまでの実績を活かした教育を展開できる**ことからも、本学が目指す人材育成において大きな成果が期待

③　高等教育に接する機会が少なく**他県への若者流出が多い県東部地域において**、県央部に目を向けてもらうきっかけとなり、**県外流出の防止が期待**

周防大島高校の教育活動・内容

◆**教育的つながり**
・イングリッシュセミナー
・ハワイ語学研修旅行
・郷土学習
・アロハシャツの製作及びファッションショーの開催
・日本アワサンゴの研究

◆**地域課題の解決**
・高校を核とした産官学連携（地元の塩を使った商品開発等）
・全国のコンテスト等での受賞
・国の有識者会議での取組発表

令和５年１１月、山口県教育委員会からの回答

■　「**山口県立周防大島高校の設置者変更**」について**了承**
■　「**令和８年４月の開校を目標**」とすることについて**了承**

山口県立大学附属周防大島高等学校

スクール・ミッション、スクール・ポリシー構造図

急激に変化する社会・先の見えない社会（VUCA※）の到来・新たな課題 ※Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）

▼第4次産業革命（Society 5.0）
▼技術革新（ＩｏＴ・ビッグデータ・AIなど）
▼新興技術（AI、量子、半導体、クリーンエネルギーなど）
▼新たな課題（地球規模の課題であるグリーンガス問題など）

生徒が生きていく社会

産業界が求める力
指示待ちではなく、自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力

山口県の現状
▼山口県の人口減、特に18歳人口減と若者（特に女性）の流出
※日本における最大の課題は人口減（地方の衰退の要因）
▼山口県で生きる人生設計が見えない
▼産学公の本気の教育協働が必要

スクール・ミッション

周防大島の豊かな自然を舞台に、広く県内外から集う生徒をはじめ、多様な人との交流や、連携する中学校や山口県立大学等と協働した活動を通して、次のような学校づくりを進めます。
・特色ある教育活動により、グローカル※な視点をもって広く地域社会で活躍する自立した人材を育成する学校
・地域の課題解決や活性化につながる貢献活動により、よりよいまちづくりの推進力となる学校

※地球規模の視野で考え、地域で行動すること（「グローバル」×「ローカル」）

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー　～育成を目指す資質・能力に関する方針～　Change

地域に誇りをもち（Civic Pride）、地域社会で活躍しながら、豊かな人生を歩むことができるよう、次の力を自ら身に付けた生徒を育成します。
【より善く生きるために必要な力】社会的自立、コミュニケーション能力、生涯にわたって学び続ける力など
【地域社会の課題を解決するために必要な力】グローカルな視点、身近な課題に気が付く力、その改善・解決に向けた行動力・創造力、困難を乗り越えながらやり遂げる力など
【未来を切り拓くために必要な力】未来を見通し答えのない問いについて考える力（知性）、チャレンジ精神、周囲を巻き込むリーダーシップ・フォロワーシップなど

カリキュラム・ポリシー　～教育課程の編成及び実施に関する方針～　Challenge

○生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望への対応 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に対応しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育成するため、多様な選択科目を開設します。	▶国際・文化・情報・福祉・看護・栄養・ビジネス・自然科学等の科目（45分７限） ▶大学進学に対応する少人数・習熟度別指導、２年次からの大学進学コース
○社会で求められる力の育成 これからの社会を豊かに生き抜いていくため、急速に変化する社会で求められる力の育成や、自分たちの生活環境や地域課題の改善・向上につながる科目を開設します。	▶データサイエンス教育、社会福祉基礎、QOL・Well-beingにつながる科目の開設
○故郷への愛着と誇りの醸成や地域の活性化に向けた取組の展開 故郷への愛着と誇りの醸成や地域の活性化に向けて、「島じゅうキャンパス」のコンセプトのもと、地域の特長を生かした教育活動や地域貢献活動を推進します。	▶地域を舞台とした探究活動 ▶中学校と連携・協働した活動（連携型中高一貫教育）
○豊かな人間性・人間力の伸長 たくましさや思いやりなど、豊かな人間性・人間力を伸長するため、ＨＲ活動や学校行事等の充実した特別活動や部活動を実施します。	▶コミュニティ・スクールの仕組みの活用 ▶新入生オリエンテーション合宿（仮称） ▶ハワイ語学研修
○生徒の視野を広げ、可能性を高める取組の充実 高度で深い学びにふれることにより、生徒の視野を広げ、可能性を高めるため、附属高校の仕組みを活用した大学との連携・協働や国際交流などの取組を推進します。	▶県立大学による出前授業・大学見学など ▶県大進学プログラム（２年～）、先取り履修、育成型選抜による県立大学進学
○教育課程の工夫と改善 生徒が身に付けた力や社会が求める力を検証・把握しながら、教育課程の工夫と改善に努めます。	▶授業評価・学校評価等の各種評価の活用、学校運営協議会等での検証

アドミッション・ポリシー　～入学者の受入れに関する方針～　Chance

本校の特色ある教育活動を理解し、高校生活への目的意識をもつとともに、中学校での活動等を通して、次の力などが身に付いている生徒を募集します。
・基本的な生活・学習習慣が身に付いており、努力し続ける意欲ある生徒
・たくましさと思いやりの心を備え、互いに高め合うことができる生徒

学校の現状と取り巻く環境

・変化し続けている学校
・特色ある教育活動　・地域・社会との連携
・地方創生関連の取組（全国大会で受賞）
・幅広い学力　・多様な進路希望
・連携型中高一貫教育　・全国からの入学
・豊かな自然とその恵み、歴史・文化施設
・移住者・起業家の増加、公民協働による地域の活性化

今日の高校生が直面している課題

自由で豊かな時代を生きながら、他者とのつながりを希薄化させ、心の悩みに遭遇

○社会環境が小家族（核家族）の集合
→希薄な人間関係・交流機会の減少

○他との交流を必要としないネット社会
→他人との交流を拒む傾向

○親の影響を強く受け、親への高い依存
→本能的な自立への意識の希薄化

附属高校の概要

特色ある本校の教育課程の展開に最適な規模
一人ひとりに丁寧に対応できる人数

課程	学科	入学定員
全日制課程	普通科	90人

なぜ、普通科？

中学3年生で、将来の進路を決めてしまうのは、まだ早いのでは？

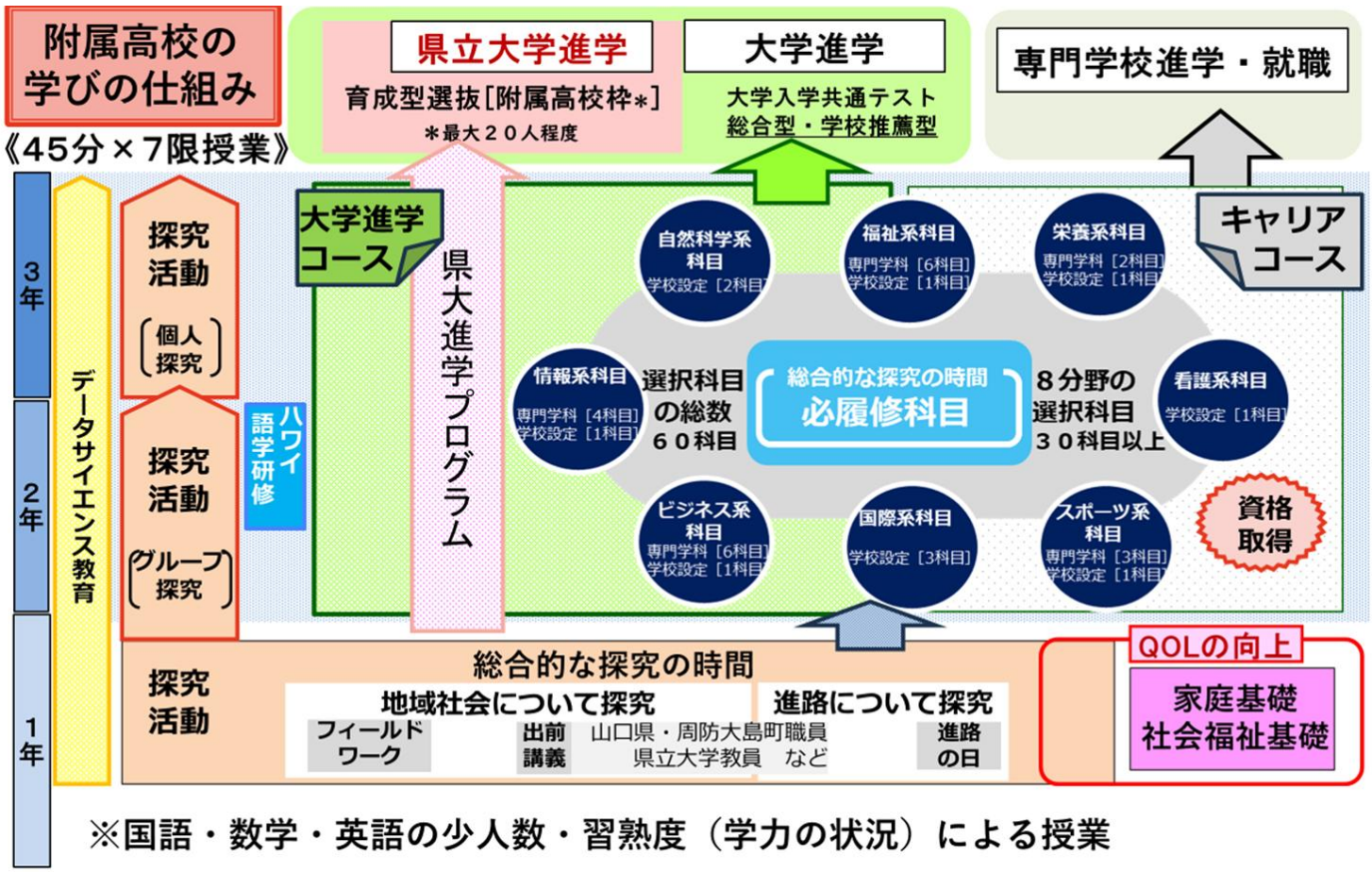
進路を決めてしまうほど、社会のことを知ってるか？
中学生の可能性は、高校でまだまだ伸びる

高校３年間（大学を含む７年間）で
じっくり進路を考えられる仕組み

「福祉」「ビジネス」の授業は、選択科目として、より充実

特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

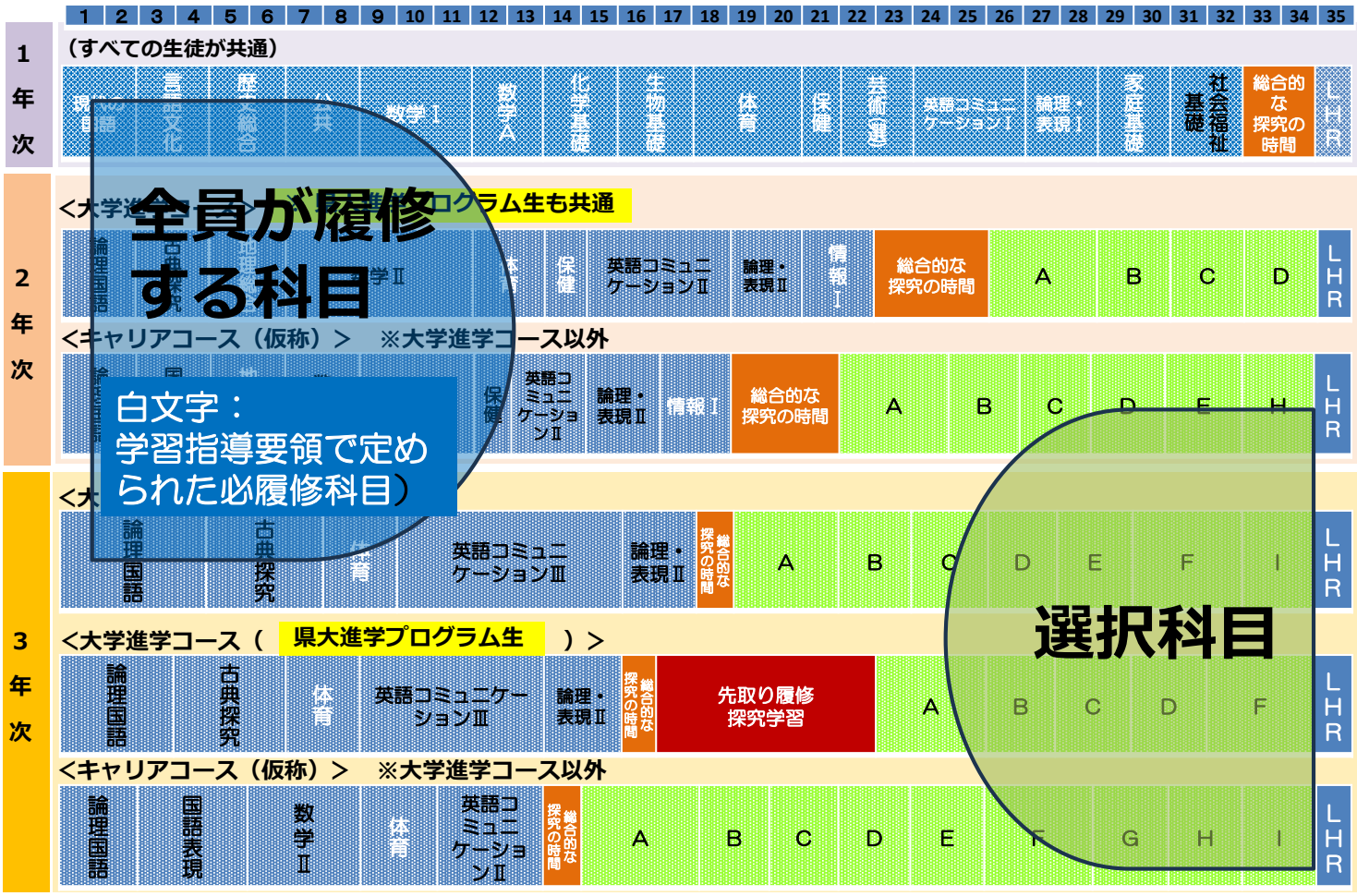
○１年次に、“将来のビジョン”についてしっかり考えて
○２年次から、希望の進路に併せて、効果的・効率的に必要な科目を選択



※国語・数学・英語の少人数・習熟度（学力の状況）による授業

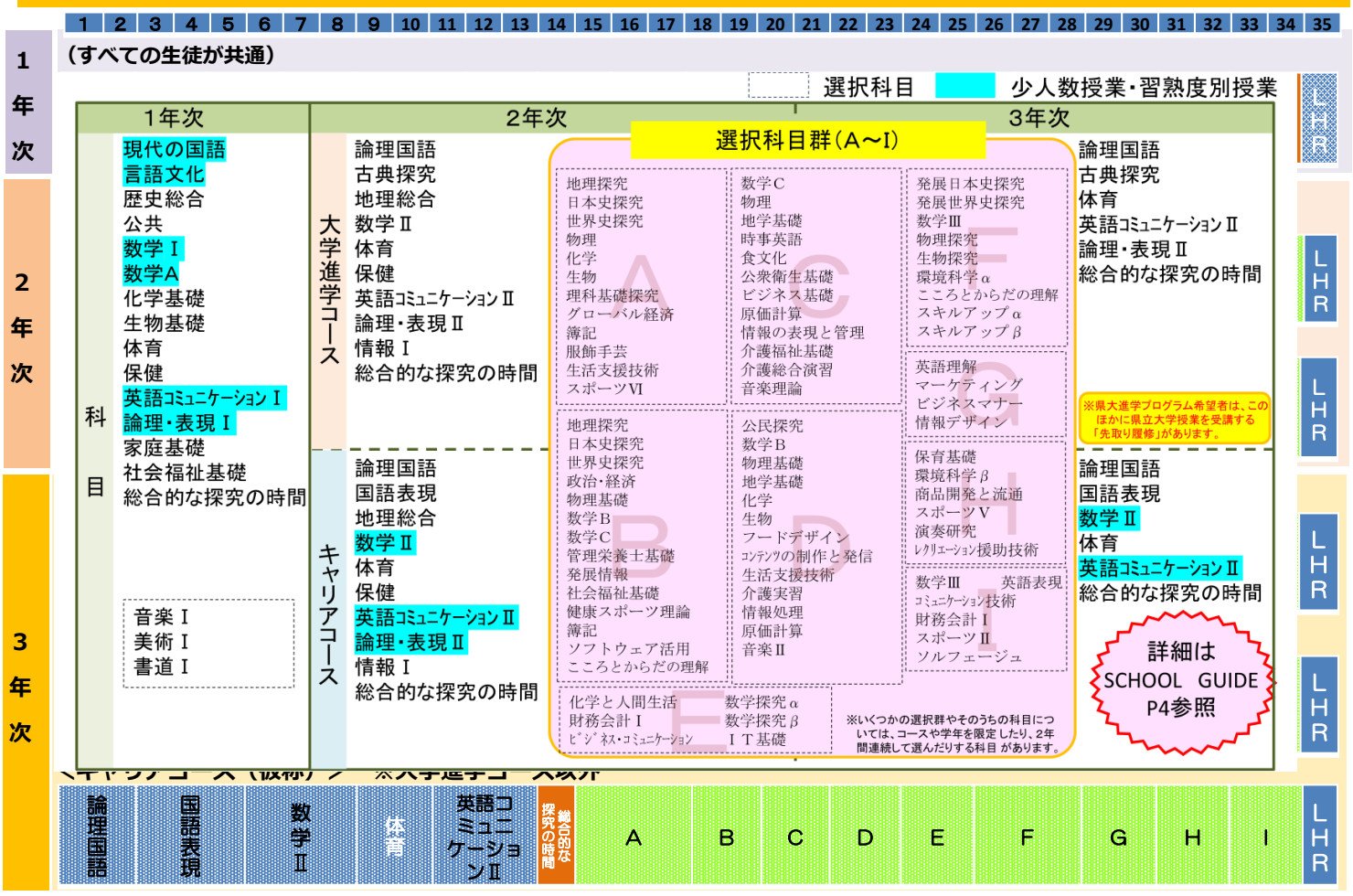
特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

○進路意識の高まりとともに、選択科目を増加



特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

○進路意識の高まりとともに、選択科目を増加



特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

進路別履修モデル①(例) 資格取得重点型/キャリアコース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

ビジネス系　専門学校進学・就職希望者

赤文字：進路に応じて選択した科目

簿記検定・情報処理検定、
全商英語検定

2年次	論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	簿記	簿記	情報処理	ビジネス基礎	科学と人間生活	スポーツⅤ	LHR																
3年次	論理国語	表現	子Ⅱ	育	ケーションⅡ	間	プローバル経済	ソフトウェア活用	原価計算	原価計算	財務会計Ⅰ	スキルアップβ	マーケティング	商品開発と流通	財務会計Ⅰ	LHR																	

福祉系　専門学校進学・就職希望者

介護職員初任者研修修了資格

2年次	論理	国語	地理	数学	体育	保	英語コ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	生活支援技術	社会福祉基礎	生活支援技術	介護福祉基礎	科学と人間生活	レクリエーション援助技術	LHR																
3年次	理国語	語表現	数学Ⅱ	体育	ミュニケーションⅡ	的な間	スポーツⅥ	こころとからだの理解	介護実習	介護総合演習	ビジネス・コミュニケーション	こころとからだの理解	ビジネスマナー	保育基礎	コミュニケーション技術	LHR																	

保育・音楽系　専門学校進学・就職希望者

2年次	論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	服飾手芸	管理栄養士基礎	フードデザイン	音楽理論	科学と人間生活	演奏研究	LHR																
3年次	論理国語	国語表現	数学Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ	総合的な探究の時間	スポーツⅥ	健康スポーツ理論	音楽Ⅱ	公衆衛生基礎	ビジネス・コミュニケーション	スキルアップβ	ビジネスマナー	保育基礎	ソルフェージュ	LHR																	

特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

進路別履修モデル②(例) 難関大学受験科目重点型/大学進学コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

<大学進学コース>　理系大学進学希望者

大学入学共通テストの
理科・数学2科目対応可能

2年次	論理国語	古典探究												論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	化学	物理基礎	数学B	物理	LHR												
3年次	論理国語		古典探究	体育	英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	物理	政治経済	化学	数学C	数学探究β	数学Ⅲ	数学Ⅲ	LHR																

<大学進学コース（県大進学プログラム生　→国際文化学科）>

2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	グローバル経済	世界史探究	地学基礎	時事英語	LHR																		
3年次	論理国語	古典探究	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	先取り履修探究学習		スキルアップα(プレゼン)	世界史探究	政治経済	公民探究	食文化	LHR																		

<大学進学コース（県大進学プログラム生　→情報社会学科）>

2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	日本史探究	日本史探究	情報処理	地学基礎	LHR																		
3年次	論理国語	古典探究	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	先取り履修探究学習		スキルアップα(プレゼン)	グローバル経済	ソフトウェア活用	数学B	数学C	LHR																		

特長① 多様な選択科目を設置し、一人一人の進路希望に対応

進路別履修モデル②(例) 難関大学受験科目重点型/大学進学コース

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

<大学進学コース> 理系大学進学希望者

2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ				体育	保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ	総合的な探究の時間																	LHR
3年次	論理国語		古典探究		体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	物理																			LHR

特長④
スキルアップの授業
小論文・
面接・
プレゼン
を徹底指導



<大学進学コース（県大進学プログラム生 →国際

2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ				体育	保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		情報Ⅰ	探究																	LHR
3年次													り履修学習			スキルアップα(プレゼン)		世界史探究		政治経済		公民探究		食文化								LHR

○大学での学びにつながる科目選択
○育成型選抜を意識したプレゼン対策に
対応する「スキルアップα」
○県立大学進学以外の各種受験に対応
（共通テストで地歴や数学２科目に対応）
できる選択可能

<情報社会学科）>

2年次													理・表現Ⅱ		情報Ⅰ	総合的な探究の時間		日本史探究		日本史探究		情報処理		地学基礎								LHR
3年次	論理国語		古典探究		体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	先取り履修探究学習			スキルアップα(プレゼン)		グローバル経済		ソフトウエア活用		数学B		数学C								LHR

一般的な大学入試の種類

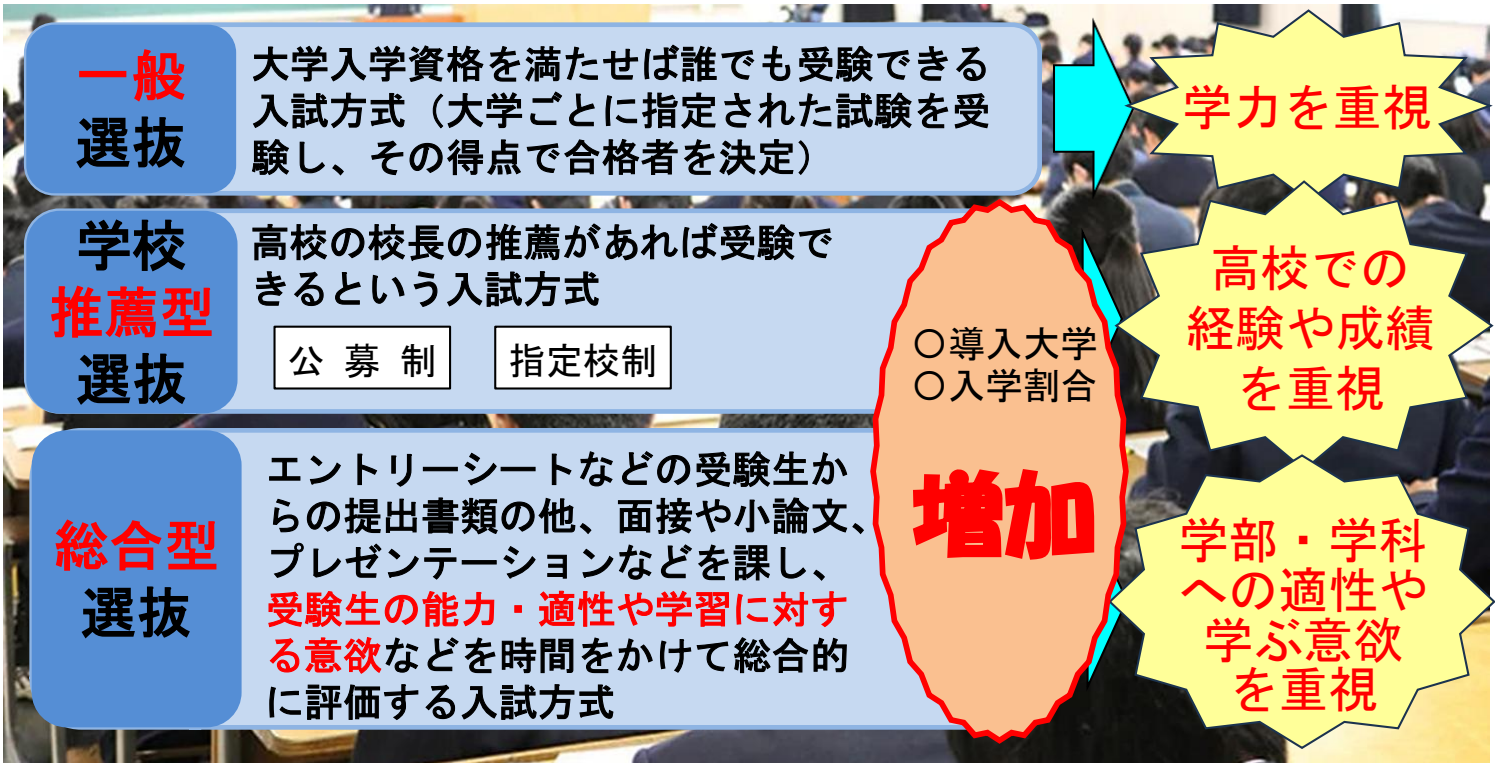
社会の変化 ➡ 求められる力が変わってきた

変化に気が付く力

これまで
知識・技能の
量と正確さ

急速・急激な変化
予測不可能（想定外）
正解のない社会

これから
知識や技能とともに
自分で考え、判断、表現し仲間と一緒に取り組む力



一般選抜
大学入学資格を満たせば誰でも受験できる入試方式（大学ごとに指定された試験を受験し、その得点で合格者を決定）

➡ 学力を重視

学校推薦型選抜
高校の校長の推薦があれば受験できるという入試方式
公募制　指定校制

高校での経験や成績を重視

総合型選抜
エントリーシートなどの受験生からの提出書類の他、面接や小論文、プレゼンテーションなどを課し、受験生の能力・適性や学習に対する意欲などを時間をかけて総合的に評価する入試方式

○導入大学
○入学割合
増加

学部・学科への適性や学ぶ意欲を重視

特長③　県大進学プログラムと育成型選抜により県立大学進学

★　附属高校枠で最大20人程度が県立大学に進学

●山口県立大学の募集人員、のべ受験者数

※2025年度の入学者選抜データ

設置学科	総合型選抜	学校推薦型選抜		一般選抜		計	のべ受験者数
		地域貢献人材発掘枠	県内高校枠	前期	後期		
国際文化学科	5	10	15	16	4	50	205
文化創造学科	5	9	13	15	3	45	155
情報社会学科	5	8	12	12	3	40	60
社会福祉学科	9	17	24	30	7	87	223
看護学科	—	5	22	23	5	55	201
栄養学科	—	8	12	20	2	42	122
計	24	57	98	116	24	319	966
のべ受験者数	111	283		399	173	966	

県立大学にはこんな学科があります。

中学生のための山口県立大学案内



うち“最大20人程度”が附属高校枠

179人

140人

特長③　県大進学プログラムと育成型選抜により県立大学進学

★　附属高校枠で最大20人程度が県立大学に進学

●山口県立大学の募集人員、のべ受験者数

※2025年度の入学者選抜データ

設置学科	総合型選抜	学校推薦型選抜		一般選抜		計	のべ受験者数
		地域貢献人材発掘枠	県内高校枠	前期	後期		
国際文化学科	5	10	15	16	4	50	205
文化創造学科	5	9	13	15	3	45	155
情報社会学科	5	8	12	12	3	40	60
社会福祉学科	9	17	24	30	7	87	223
看護学科	—	5	22	23	5	55	201
栄養学科	—	8	12	20	2	42	122
計	24	57	98	116	24	319	966
のべ受験者数	111	283		399	173	966	

県立大学にはこんな学科があります。

うち“最大20人程度”が附属高校枠

特長③　県大進学プログラムと育成型選抜により県立大学進学

★　附属高校枠で最大20人程度が県立大学に進学

育成型選抜

大学で求められる力を、県立大学と附属高校が協働して育成しながら行う選抜

■面接 ■志望理由書 ■プレゼンテーション※ ■学習の成果　で評価

※（例）高校での学びを踏まえ、大学で学びたいこと

県大進学プログラム

3年
- ○個人探究
  大学教員の指導助言
- ○ゼミ等への参加
- ○大学の授業（先取り履修）

レポート等の提出

大学受験のための1年間を、大学入学後の学びの準備の1年間へ

2年
- ○進路希望を踏まえたグループ探究
  大学教員の指導助言

県大進学プログラムにエントリー

県大を知る

1年
- ○大学見学
- ○出前講義
- ○オープンキャンパス
- ○高大接続講座

詳細は今後検討

先取り履修

県大の授業（基盤教育科目）を受講
（県大入学後は、大学の単位として認定）

Ⅰ群 生命・生活・人生を探求する科目
例）地域共生論、地域環境論、社会生活論
知的財産入門

Ⅲ群 数理・データサイエンス科目
例）データ科学と社会
コンピュータ・リテラシー

特長④　QOL（Quality of Life【生活（人生）の質】）の充実

●幸せな人生を送る基盤となる“家庭生活・社会生活”について、深く探究



※国語・数学・英語の少人数・習熟度（学力の状況）による授業

特長⑤　データサイエンスに関する授業の充実

●これからの**社会のあらゆる分野で必要**となる
“データサイエンス”に関する力を育成

附属
学びの

《45分×

3年
2年
1年
データサイエンス教育



※

特長⑥　周防大島高校の探究学習がすごい！①



【最終審査（全国大会）出場

◎**周防大島“まるまるかぶりつき”**（第1回2016）
～周防大島をまるまる“観光農園、観光漁場にして、観光客を呼び込む！～

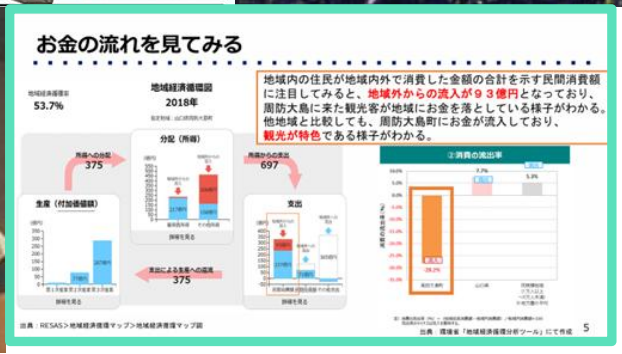
◎**ヒッチハイク★リッチタイムIN周 防 大 島**（ 第 2回2017）
～ヒッチハイクから生まれる島民との交流～

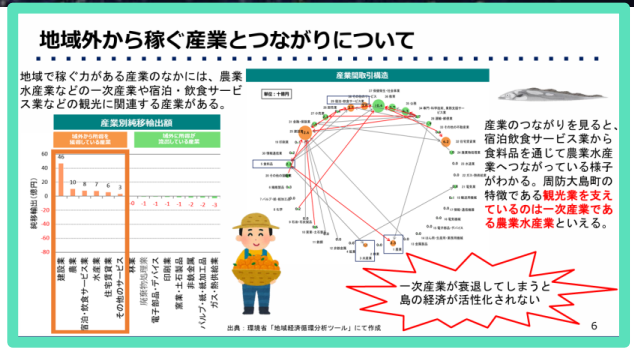
◎**みかんの島周防大島をまるごとテーマパーク化**（同上）
～空き家や耕作放棄地を活用したオリジナル遊園地～

◎**大島大橋有料化による島内ツーリズムの促進**（第4回2019）

◎**みんなで繋ぐ未来の環**（ 第 7回2022）～周防大島の挑戦～







特長⑦ 実績と充実の探究学習 P³ BL

これからの社会で求められる課題に気が付き、調べ、考え、発表する力を育成

附属高校の学びの仕組み

《45分×7限授業》

県立大学進学
育成型選抜[附属高校枠＊]
＊最大○人程度

大学進学
大学入学共通テスト
総合型・学校推薦型

夢塩プロジェクト
前身の周防大島高校地域創生科の生徒と合同会社龍神乃里の協働プロジェクト

りゅうじんのしお
龍神乃鹽飴の開発・販売
周防大島の龍神乃鹽を使った塩飴で、2・3年次生ビジネスコースと福祉コースの有志が1年間かけて開発しました。




3年 / 2年 / 1年 データサイエンス教育

探究活動（個人探究）

探究活動（グループ探究）

探究活動

Problem Based Learning
- 地域の課題解決に向けた探究学習
- 探究成果を各種コンテスト等で発表

Project Based Learning
- 地域の活性化に向けたプロジェクトの企画・運営（グループ探究）
- 地域のイベントでの企画運営

Program Based Learning
総合的な探究の時間

地域社会について探究		進路について探究
フィールドワーク	出前講義 山口県・周防大島町職員 県立大学教員 など	進路の日

※

Ad³venture Project
D ream
Active D esign Venture
D ramatic

起業家育成支援
起業家育成プログラム　模擬株式会社の設立
高校生の起業経費支援

地域活性化イベントの主催支援

探究に必要な知識をInput

特長⑥ 周防大島高校の探究学習がすごい！②

高校生Ring2024（主催:リクルート）

準グランプリ獲得
（応募人数3万2444名）

AIを活用し、タスク化・メンタルケアを提供する「生活サポート」アプリを提案しました。



ニホンアワサンゴの研究

生態を調べる目的で校内の水槽で飼育したり、生育環境を守るための里山の整備活動・海岸清掃を実施しました。




子ども夢広場
地域のイベントで、子どもが遊べるコーナーを設置
高校生が開発した商品を販売（太刀魚のバーガー）



やしろ（屋代島）縞
伝統織物「柳井縞」を参考にフェイスタオルやハンドタオルを製作・販売





特長⑧ 充実の学校行事！

SCHOOL LIFE

島で学び、島で暮らす。

EVENT CALENDAR

年間行事 高校生活を華やかに彩る、さまざまなイベントや行事。

4 Apr.
- 入学式・始業式
- 新入生合宿
- 遠足(2・3年次)

5 May
- 進路の日

7
- 文化祭
- 回考査
- リーンウォーク

7 Jul.
- スポーツマッチ
- 野球応援
- 終業式

8 Aug.
- 夏期休業
- 学習合宿
- イングリッシュセミナー
- 始業式

9
- 2回考査
- リーンウォーク
- 路の日
- 育祭

11 Nov.
- 「届けよう服のチカラ」プロジェクト
- 第3回考査
- クリーンウォーク

12 Dec.
- ふれあいみかん収穫作業(1
- 郷土おおしま発表大会
- スポーツマッチ
- 終業式

- 路ガイダンス

3 Mar.
- 第4回考査
- 卒業式
- スポーツマッチ
- 「地域創生」発表会
- 終業式



特長⑧ 充実の学校行事！

新入生合宿（R8～）



十種ヶ峰青少年自然の家
4月下旬（２泊３日）



一生の
思い出づくり



新しい
仲間づくり



ハワイ語学研修

１月中旬（４泊６日）
２年生全員
通常のおよそ1/4約13万円

特長⑨　新しい部活動！

アーチェリー部（男女）



◎ R6中国大会出場

ボート部（男女）



◎ R6インターハイ出場

硬式野球部（男）

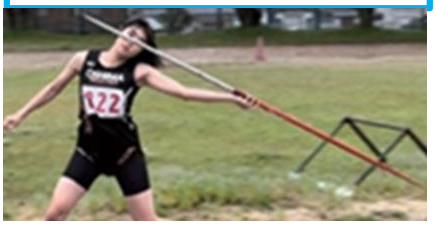


◎ R6春季県大会　ベスト８

バレーボール部（女）



陸上競技部（男女）



吹奏楽部（男女）



附属高校からの提案　**新しい形の部活動**

総合スポーツ部（男女）

○ソフトテニス　○ソフトバレー
○フットサル　○バスケ(3on3)
○卓球　○ピックルボール　など

総合文化部（男女）

○フラダンス　○ e-スポーツ
○楽器演奏（Band）　○ ボランティア
○美術（絵画、写真など）　など

※　シーカヤックやフィッシング、 サイクリング、登山など周防大島の豊かな自然を生かした活動を長期休業期間などに実施

特長⑩　新しい部活動！　～ヒーローになれる学校～



特長⑪　生徒寮　～自立と交流～　・周防大島町の支援

寮費

食費（３食）、管理費等を含む
町から月額11,000円補助あり（2024実績）
原則個室でＷｉ-Ｆｉあり

あさなぎ寮	53,000円	実質42,000円負担
海南寮	5,3000円	実質42,000円負担
なぎさ寮	51,000円	実質40,000円負担









周防大島町からの通学費補助（2024年実績）
通学定期購入額の3割（上限年5万円）

新しい連携型中高一貫教育

新しい連携型中高一貫教育の方向性

コンセプト　多様な交流と地域の絆の中で、夢が広がる学校づくり

柱となる教育活動

- 中高行事の合同実施
- 地域の生かした特長教育の推進
- 学力向上に意欲や活力がつく学習の充実
- 中学校と高等学校の滑らかな接続

多様な交流
中高生・地域が、県立大学の学生と交流する機会を創出

夢が広がる学校
県立大学との交流により、将来を見通し、選択肢を拡大

※連携校…（周防大島町）周防大島中学校、大島中学校（山口県立大学）附属高等学校

地域貢献・活性化に向けた取組の充実

- ○郷土おおしま発表大会
  - ※町内施設の巡回実施を検討
- ○ふれあいみかん収穫作業
  - ※連携校合同実施の再開を検討
- ○イングリッシュセミナー
  - ※小学生やペリースクールなど、多様な交流を検討
- ○島内各地域で開催されているイベント等に中高生が計画的・積極的に参加
  - ※安下庄海の市、大島夢さくひろば祭り、道の駅サザンセトとうわ、大島一周駅伝大会、サザン・セト大島ロードレース大会など

学習意欲や学力向上につながる取組の充実

- ○中学校合同学習会
- ○中学生入学前教育
- ○高校教諭による中学生への進路相談
- ○中学校教員によるカウンセリング
- ○県大進学者による学校紹介・体験談　新規
- ○FOTプログラム　～未来は今日広がる～（Future Open Today）　新規
  - ※県立大学の学生や教員による学習支援や出前講義等を実施

連　携　選　抜

- ○２月上旬頃、国語・数学・英語の学校独自検査及び面接を実施

特長⑫　入学者選抜の仕組（7月8日発表　実施要項から）

求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

本校の特色ある教育活動を理解し、高校生活への目的意識をもつとともに、中学校での活動等を通して、次の力などが身に付いている生徒を募集します。

・基本的な生活・学習習慣が身に付いており、努力し続ける意欲ある生徒
・たくましさと思いやりの心を備え、互いに高め合うことができる生徒

■　入学定員（９０人）

■　選抜の種類・方法等

中学生の受験機会の拡大

選抜の種類	募集人員	専併	選抜方法	出願	試験日	合格発表	入学手続き	試験会場
特色選抜	40人	専願	面接、調査書 等	12月22日(月)～1月6日(月)	1月21日(水)	1月27日(火)	3月13日(金)	高校大学
一般選抜	入学定員から特色選抜・連携選抜の合格者を減じた数	専願 併願	学力試験（国社数理英の５教科）面接、調査書 等	登録：1月19日(月)～1月29日(木) 書類提出～2月4日(水)	2月13日(金)	2月20日(金)		高校大学
連携選抜	入学定員から特色選抜を減じた数とし、特に定めない	専願	学力試験（国数英の３教科）面接、調査書・活動の記録 等	（県立高校第一次募集） 3月5日(木)	3月12日(木)			高校のみ

県内公立高校より早い日程で実施

※「特色選抜」とは、学力検査等により選抜を行う「一般選抜」と異なり、高校の特色化・魅力化に向けて、志願者の学力とともに、意欲やこれまでの活動の実績（特色）を評価する選抜。
「連携選抜」は、周防大島町立周防大島中学校・大島中学校（連携校）の生徒を対象とする選抜。

併願の場合
県内公立高校の合否を確認して進学先を決めることが可能

■　通学区域　　定めなし　⇒　県内はもとより、全国から出願可能

特長⑫　入学者選抜の仕組（7月8日発表　実施要項から）

応募資格

次の各号のいずれかに該当する者が応募できる。
1　中学校又はこれに準ずる学校（以下「中学校」という。）の卒業者
2　令和8年3月中学校卒業見込みの者
3　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号※のいずれかに該当する者

※在外教育施設、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

特色・連携選抜の出願要件

◇　特色選抜

令和８年３月中学校卒業見込みの者で，次の全ての要件を満たし、合格となった場合は、本校への入学を確約できるものが出願できる。

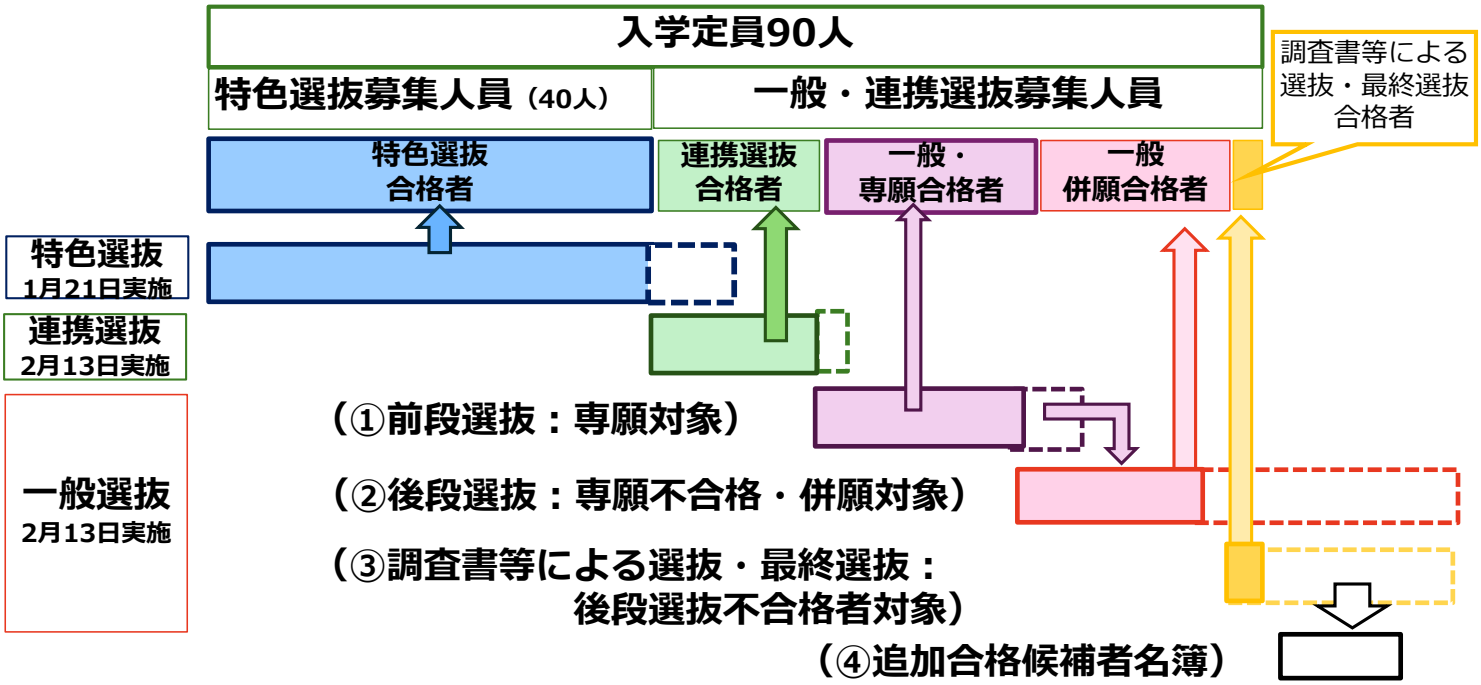
1　本校の特色ある教育活動に対する適性及び興味・関心を有し、志願の動機、理由が明白、適切である者
2　基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いており、入学後も努力し続ける意欲ある者
3　スポーツ・文化・生徒会活動やボランティア活動・地域の活動等に積極的に取り組んだ実績がある者

◇　連携選抜

周防大島町立周防大島中学校及び大島中学校のいずれかの中学校を令和８年３月卒業見込みの者で、中高一貫教育における活動の記録を提出できるもののうち、次の全ての要件を満たし、合格となった場合には、本校への入学を確約できるものが出願できる。

1　本校の特色ある教育活動に対する適性及び興味・関心を有し、志願の動機、理由が明白、適切である者
2　基本的な生活習慣及び学習習慣が身に付いており、入学後も努力し続ける意欲ある者

特長⑫　入学者選抜の仕組（7月8日発表　実施要項から図示）



①専願で出願した者を対象として前段選抜を行い，募集人員の内の一定の人数を合格とする。
②次に、前段選抜で合格とならなかった者に併願で出願した者を加えて，後段選抜を行う。
③入学定員の一部について，学力試験の成績が一定以上であれば，本校の特色に応じ，調査書及び面接の結果等によって選抜（調査書等による選抜）を行う。
④一般選抜を併願で出願し、合格した人が、入学することを辞退するなど、欠員が生じた場合、追加合格候補者名簿に登載された人の上位から順に追加合格とする。

